

## 抗 ラット SulfFP1/sulf-1 ポリクローナル抗体

ヘパラン硫酸・ヘパリンは、増殖因子および分化因子との結合やそれらの因子の細胞外情報伝達において重要な役割を担うことが知られています。

SulfFPは、細胞外でヘパラン硫酸の硫酸化パターンを修飾する新しいタイプのスルファターゼであり、線虫、ショウジョウバエからヒトまで保存されています。

SulfFP1 (sulf-1) は、ヘパリン結合蛋白とヘパラン硫酸糖鎖の相互作用を変化させることにより、線維芽細胞成長因子 (fibroblast growth factor:FGF) や細胞間シグナル分子 Wnt などのシグナル伝達を制御することが示されています。また癌細胞で遺伝子発現が変化していることから、癌と関連する分子、癌治療の標的遺伝子としても注目されています。

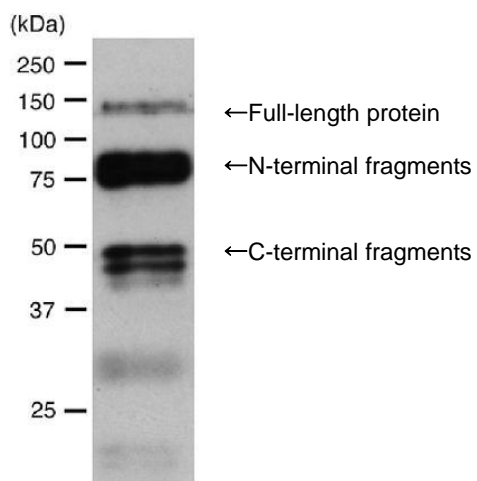
抗ラット SulfFP 抗体を下記 3 種発売しています。

KM108: 抗 SulfFP1/sulf-1 ポリクローナル抗体

KM109: 抗 SulfFP2/sulf-2 ポリクローナル抗体

KM110: 抗 SulfFP2/sulf-2 ポリクローナル抗体

容量	50 $\mu$ g (200 $\mu$ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20 $^{\circ}$ C以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 $^{\circ}$ Cで保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	大腸菌で発現したラット SulfFP1 を免疫したウサギの抗血清より、 プロテイン G カラムにて精製
使用濃度	ウェスタンブロッティング: 1.0 $\mu$ g/ml



### ウェスタンブロッティング

Sample : SulfFP1-transfected HEK293 cells supernatants

提供 :  
筑波大学大学院人間総合科学研究科  
榊 正幸 先生  
長嶺 聖史 先生

## 抗 ラット SulfFP1/sulf-1 ポリクローナル抗体

### 【参考文献】

1. Ohto T. et al. :  
Identification of a novel nonlysosomal sulphatase expressed in the floor plate, choroid plexus and cartilage.  
Genes Cells. 2002 Feb;7(2):173-85.
2. Ai X. et al. :  
QSulf1 remodels the 6-O sulfation states of cell surface heparan sulfate proteoglycans to promote Wnt signaling.  
J Cell Biol. 2003 Jul 21;162(2):341-51.
3. Morimoto-Tomita M. et al. :  
Cloning and characterization of two extracellular heparin-degrading endosulfatases in mice and humans.  
J Biol Chem. 2002 Dec 20;277(51):49175-85.
4. Dhoot GK. et al. :  
Regulation of Wnt signaling and embryo patterning by an extracellular sulfatase.  
Science. 2001 Aug 31;293(5535):1663-6.

製造元

 **株式会社トランスジェニック**

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp